

信州大学

## 信州大学農学部附属演習林における 2017 年のトピック

### 公開森林実習

森林利用デザイン、山岳環境保全学、自然の成り立ちと山の生業、木材工学の4演習を開講し、他大学から計21名の参加者を得た。本年の山岳環境保全学演習では駒ヶ岳ロープウェーは使わず、桂小場コースから登山した。自然の成り立ち演習は、野辺山ステーションから西駒ステーションへと変更した。木材工学演習で作製したベンチの一部を、参加した学生の大学に寄贈した。



### 林業大学校との実習提携

長野県林業大学校、岐阜県森林文化アカデミーと信州大学農学部が教育・研究に関する覚書を締結した。第一回の連携実習として、両校から30名の学生が参加し、高性能林業機械および油圧式集材機による搬出作業実習を実施した。

本実習と森林利用デザイン演習のためにスイングヤーダとハーベスタをレンタルした。レンタル料金には、教育関係共同利用拠点の予算を充てた。



### 循環認証会議 (SGEC)

FM認証の取得に伴い、調査や実習で演習林を利用する人にも生物多様性等のモニタリングに参加してもらう仕組みを作った。実習ではKY（危険予知）活動等の安全教育を強化した。間伐請負の入札仕様書に生物多様性管理指針と労働災害防止指針を明記した。公共施設建設のための認証材を出荷した。



### 自然環境

西駒ステーションではブナ、ミズナラ、ヤマブドウ等、野辺山ステーションではハシバミ（ヘーゼルナッツ）が豊作で、今年は食べられる木の実の当たり年であった。特にハシバミの豊作はそう滅多にないようで、収穫・調査できることを楽しみにしていた。しかし、10月下旬には実は枝先から姿を消しており、地面に落ちていたものを辛うじて数個拾えただけであった。実は鳥かネズミに補食されてしまったのだろうか？

